

海女漁の形態

海女さんはどれくらいの時間潜っているの？ 舟は使ったりしないの？



海女さんが潜っている時間は人によって差があるけれど20秒～40秒くらいだよ。ベテランの海女さんの中には1分を越えて潜る人もいるんだ！1回の潜水でウニを10個以上採ることもあるんだよ。

小袖地区では、海女さんが陸から泳いでいく漁の形態（徒人）や、舟に乗り合って漁場に行き個人で漁をする形態があるんだよ。

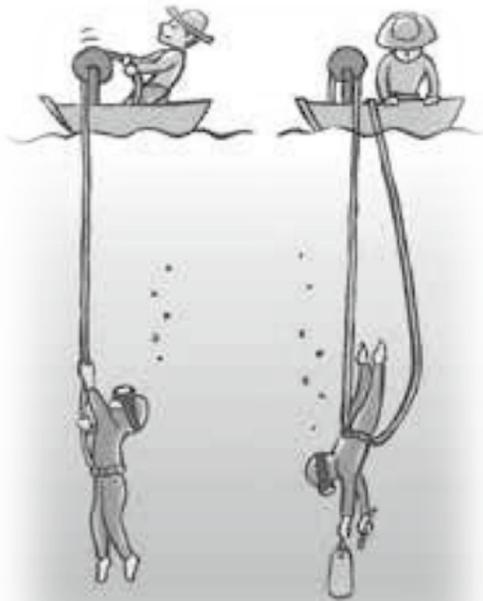
他の地域では夫婦2人で舟に乗って漁（舟人）をする地域もあるんだ！

※漁の形態の呼び方は地域によって異なります。

徒人（カチド）



舟人（フナド）



久慈では漁を行っている海女さんは現在何人くらいいるの？



現在は小袖地区も久喜地区も20人前後の海女さんが漁をしているよ。昔の海女さんが多くいた時代には地区で100人くらいの海女さんがいたこともあるんだ！

海女の衣装

久慈の海女さんは「あまちゃん」に出てくる海女さんと同じような衣装を着ているけれど、全国みんな同じ衣装なの？



あまちゃんに出てくる海女さんのように、かすりの着物（はんてん）と白いショートパンツで潜っているのは、実は久慈の小袖地区だけなんだ。この衣装が定着したのは昭和の中頃と言われていて、それより前の時代は上半身裸で短パン姿だったこともあるんだよ。

小袖地区でも長時間潜る漁の時や、海水温がとて低く時はウエットスーツを着て海に潜るんだよ。

他の地域ではウエットスーツを着ているところが多く、オレンジ色の上着や、レオタードを着る地域もあるんだ！

1 水中眼鏡

昔は松島めがねと呼ばれる二つ目の水中眼鏡も使用されていました。

2 ヤツカリ

腰に下げて潜り、浜にあがるまで獲ったウニなどを入れておく腰網です。

3 足袋とわらざうり

ゴツゴツした岩やむき出しの貝から足を守ります。

4 ソエ（磯）カギ

ウニ用やアワビ用など獲物によって形もさまざま。

5 かすりの着物とショートパンツ

実演のときはかすりの着物にショートパンツで、漁に出るときは、ウエットスーツを着用します。



ウニ

久慈市周辺で旬が旬のウニといえばキタムラサキウニ。極上のコンブを主食にしているため、甘みとうま味にあふれた味わいです。生はもちろんだが、塩ウニ、焼きウニも最高の味わいです。

海女文化の歴史

久慈に海女さんがいるのは知っているけれど、そもそも海女さんっていつ頃からいるの？



そもそもの海女の始まりは縄文時代とされているんだよ。全国のさまざまな場所から、貝の殻が多く出土していて、漁が行われていた可能性があるんだ！その後の時代でも「魏志倭人伝」や「万葉集」「枕草子」に海女について書かれた記述や和歌が多くあるんだよ。

久慈の海女の始まりについては、さまざまな説があるけれど、江戸末期から明治初期には海女さんがいたとされているんだ！

久慈では昔は海女さんのことを「かつぎ」と呼んでいて、女性が潜り始めるより前の時代は男性の海士さんが漁をしていたんだよ。時代が進むにつれて、男性が遠洋漁業に出るようになったので、女性が畑仕事の合間に海に潜って漁をするようになったと言われているんだ！

海女の活動地域

海女さんは全国にいて聞いたけど、どのあたりにいるの？



海女さんと言われる人たちは、世界で日本と韓国にしかいないんだ！日本では北は久慈市、南は熊本県天草市まで海女さんがいると言われているんだよ。

海女さんが多い地域は、石川県の輪島市、千葉県南房総市、三重県の鳥羽市、志摩市、山口県の長門市などで、鳥羽市には500人を超える海女さんがいるんだ！

小袖地区は「北限の海女」で有名だけれど、久慈には小袖地区にしか海女さんはいないの？



久慈では大尻地区、小袖地区、久喜地区などに海女さんがいた記録が残っているよ。現在、漁をする海女さんがいるのは小袖地区と久喜地区だけなんだ！



海女さんってなに？

久慈の海女さんといえば、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」で一躍有名になったイメージがありますが、どんなことをする人なのか詳しく知ってる人は、あまりいないのでは？意外と知らない海女さんのことを紹介します。

ジモト学のススメ



さらに知りたい人は！

小袖海女センター



■宇部町 24-110- 2
☎ 54 - 2261

2階の展示室で海女さんの文化や歴史を学ぶことができます。働いているのは現役の海女さん！色々な体験談を聞くことができます。

久慈市立図書館



■新中の橋 5 - 28 - 4
☎ 53 - 4605

さまざまな本を貸し出しています。
開館時間… 9時～19時
※土、日、祝日 9時～17時
休館日… 月曜日
※祝日の場合は翌日

参考文献

▶金野静一「三陸物語」▶大向直三「小袖部落の近代史」▶田村栄一郎「ルーツ北限の海女」▶東北歴史資料館「三陸沿岸の漁村と漁業習俗（下巻）」